

# 第14回 IIBC 高校生英語エッセイコンテスト

3F 菊池華恋さん 審査員特別賞（全国4位相当）獲得

タイトル No Borders: School For Everyone



## 本人コメント

今回はこのような素晴らしい賞を頂くことができとても光栄です。ありがとうございました。

今回私は「教育」に焦点をおいてエッセイを書かせていただきました。アメリカと日本の教育の違いについて書いていく中で、改めて感じる思いがありました。アメリカ人の友達との出会いや、高校の英語の先生との出会いを通して感じたことをこのエッセイを通して伝えたいと思いました。

このような自分が経験した異文化をどのように書けば、見る人に印象を与える文章になるか、たくさん悩みました。しかし、完成させることができたときは達成感に溢れ、さらに英語が大好きになりました。

この度、このようなエッセイコンテストを主催して下さった方々には深く感謝申し上げます。このような素敵な機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。

表彰式11月5日(土)(ホテルニューオータニ)の様子



岩手日日 令和4年11月2日付

## 平等な教育実現訴え

**菊池さん(花巻北3年)特別賞**

IIBC高校生英語エッセイコンテスト

国際ビジネスコミュニケーション協会 (IIBC) による hool for Everyone が特別賞を受賞した。作品は障害の有無で、花巻市東和町の菊池華に

恋さん(花巻北3年の「N」)による平等な教育についての議論を英語でつづった。初応募で入賞を果たした菊池さんは「入賞できるのは思ってたので驚いた。頑張ったかがあったと達成感を感じます。」

同コンテスト本選のテーマは「身近な異文化体験」コミュニケーションを通じた働きあいで、150校から30作品の応募があり、優れた作品に最優秀賞、優秀賞、優良賞(いずれも1作品)、特別賞(6作品)などが贈られた。

菊池さんは、障害の有無にかかわらず共に学ぶインクルーシブ教育の実現への思いを表現した。障害のある友人と別の教室で学ぶことに疑問を持っていた菊池さんは、東和中学校時代に留学生の「アメリカでは障害を持つ人も全員同じ教室で授業を受ける」という言葉に感銘を受けた。

「より多くの学校に平等な感覚を持ってもらいたい」と願い、大学入学後は他国の教育システムを学び、教師となってインクルーシブ教育を確立させる夢を伝えている。

高校入学後から英語が好きになったといい、2年生で英語検定準1級を合格。「英語に触れない日はないようにしている」といい、英語検定合格に向けて毎日英文を書き続けた勉強が、エッセイの執筆にも生かされたという。

英語担当の早川真教諭は「(菊池さんは)行動力があり、コンテストにも自発的に応募した。特別賞はこれまで真摯に英語に取り組み、隙の無い勉強を続けてきた証」と称賛を惜しまない。菊池さんと早川教諭は5日に東京都で行われる表彰式に出席する。

菊池さんは「受賞に家族もすごく喜んでくれた。大学生になってからもさまざまなことに挑戦していきたい」と笑顔を見せる。

IIBC高校生英語エッセイコンテストで特別賞を受賞した花巻北の菊池さん

※この記事・写真等は、岩手日日新聞社の許諾を得て掲載しています。



早川真教諭（左）と受賞の菊池華恋さん

## 教育の平等熱く訴え

花巻北高3年の菊池華恋さん

は、英語能力試験「TOEIC（トイック）」を実施する国際レジネスコミュニケーション協会（東京都、IBC）の第14回高校生英語エッセイコンテストの特別賞に輝いた。アメリカからの留学生や高校の教師との出合いをきっかけに「教育の平等」についてまとめた。「英語で自分の考えを伝えることができた。受賞できよううれしい」と教師の目標に向けて自信を深める。

コンテストのテーマは「身近な異文化体験～コミュニケーションを通じた響きあい」。菊池さんは「境界をなくそう。学校をみんなに」と題し、障害の有無などに問わず学ぶことができる環境をつくりたいと訴えた。

東和小学時にアメリカからの留学生が「なぜ健常者と障害者が別々の教室で学ぶのか」と菊池さ

## 英語エッセー特別賞 「境界なき学校」夢つづる

んに疑問を投げかけた。その問いにうまく答えられず文化の違いを痛感。全ての生徒が助け合えるよう日本の教育は変わるべきだと考えるようになった。

花巻北高ではエッセーの指導も担当した早川真教諭（59）から、アメリカでは「高校入試」がないことなど教育制度の違いを教えてもらい、エッセーには「多くの学校に平等という感覚を持つてもらいたい。海外の教育を学び、（障害の有無にかかわらず共に学ぶ）インクルーシブ教育を実現したい」と熱く夢をつづった。

早川教諭は「自発的にコンテストへの応募を決めるなど行動力がある。高校では英語検定準1級を取得するなど継続的に英語学習に取り組んでおり、その成果だ」とたたえる。

今回は全国150校から229の応募があった。特別賞は、最優秀賞、優秀賞、優良賞（各1名）に次ぐ4番目の賞で6名が選ばれた。

※この記事・写真等は、岩手日報社の許諾を得て掲載しています。

### IBC 高校生英語エッセイコンテストとは

IBC が主催する全国の高校生を対象とした英文エッセイコンテストである。2009年より始まり、今年で第14回目となる。今回より新たにテーマ「身近な異文化体験～コミュニケーションを通じた響きあい～」のもと、全国より229名の応募があり本校菊池華恋さんは東北地区から唯一選ばれた。